

中日ニュース

特報!

皇太子さまご婚約

第二五四号 内容

高野八九号

有P

—正田美智子さんに決る

長い間話題になつていた皇太子明仁親王殿下ご婚約の皇室会議が二十七日午前十時、岸首相ら十人出席のもとに開かれ、皇太子妃殿下に正田美智子さんを決定しました。皇太子さまは昭和八年十二月二十三日のお生れ、来月満二十五歳の誕生日を迎えられます。同十五年四月学習院初等科にご入学、二十七年「立太子の礼」を行い名実ともに皇太子となりました。また、話題の人正田美智子さんは今年二十四歳、昭和九年十月二十日正田英三郎氏の長女として東京都文京区に生まれました。そして同十六年四月双葉小学校に入学、同三十二年三月聖心女子大学英文科を首席で卒業しました。

追いたてられる漁民と農民

千葉県長浦海岸に計画された大干拓計画は今春、一部を完成したまま工事は中止。それというものあたりは全国でも指折の海苔どころ。年産四億円は固いといわれるだけに漁民たちが強く反対しているのです。こうして十一月十八日には四百隻の海苔とり船が干拓反対と海上デモを行いました。一方同じ千葉県の松戸市郊外に五十万坪二千七百戸の住宅街建設がすすめられています。ところが区画整理法により地元の農民は三割の土地をとり上げられることになった。為こでも大衝突。工事を強行しようする住宅公団側は、警察の手を借りブルトーザーを繰り出せば、農民達は体を張つての抵抗をつづけています。

百三十日ぶりに解決へ

—王子製紙争議

組合を除名されたものは、解雇するというユニオンショップ制度の是非をめぐる。みどろの斗争をつづけてきた王子製紙のストライキも、中山会長の斡旋により、ようやく明るさを取りもどしました。現地の苦小牧では、子供たちにお菓子が配られるなど喜びにあふれていました。こうして組合を骨抜きにしようとした会社側の狙いも、組合側の団結の前には及ばなかつたようです。死力をつくし、興亡をかけた苦闘の蔭には、夫を上げまし、台所を守つて来た主婦達の活躍は見逃せなかつたようです。

警職法ついに廃案

高姿勢で警職法をもちだした岸総理はついに無条件降伏。十一月二十二日の党首会議で警職法改正の一担上げを約束しました。大喜びの社会党は早速乾杯で勝利を祝いました。しかし負けた自民党はすつかり落膽。あげくお家騒動に火がつき反主流派からは岸さん批判の声が出るなど悲哀を味つていました。

道新 第四号
岸の道新文化賞

7

126

127

191

494

製作配給 東京中日新聞、中部日本ニュース映画社